

# 日東紡グループ 2009年度 決算説明会



2010年5月14日

## 目 次

I . 2009年度決算の概要

II . 2010年度業績予想と  
今後の取組み

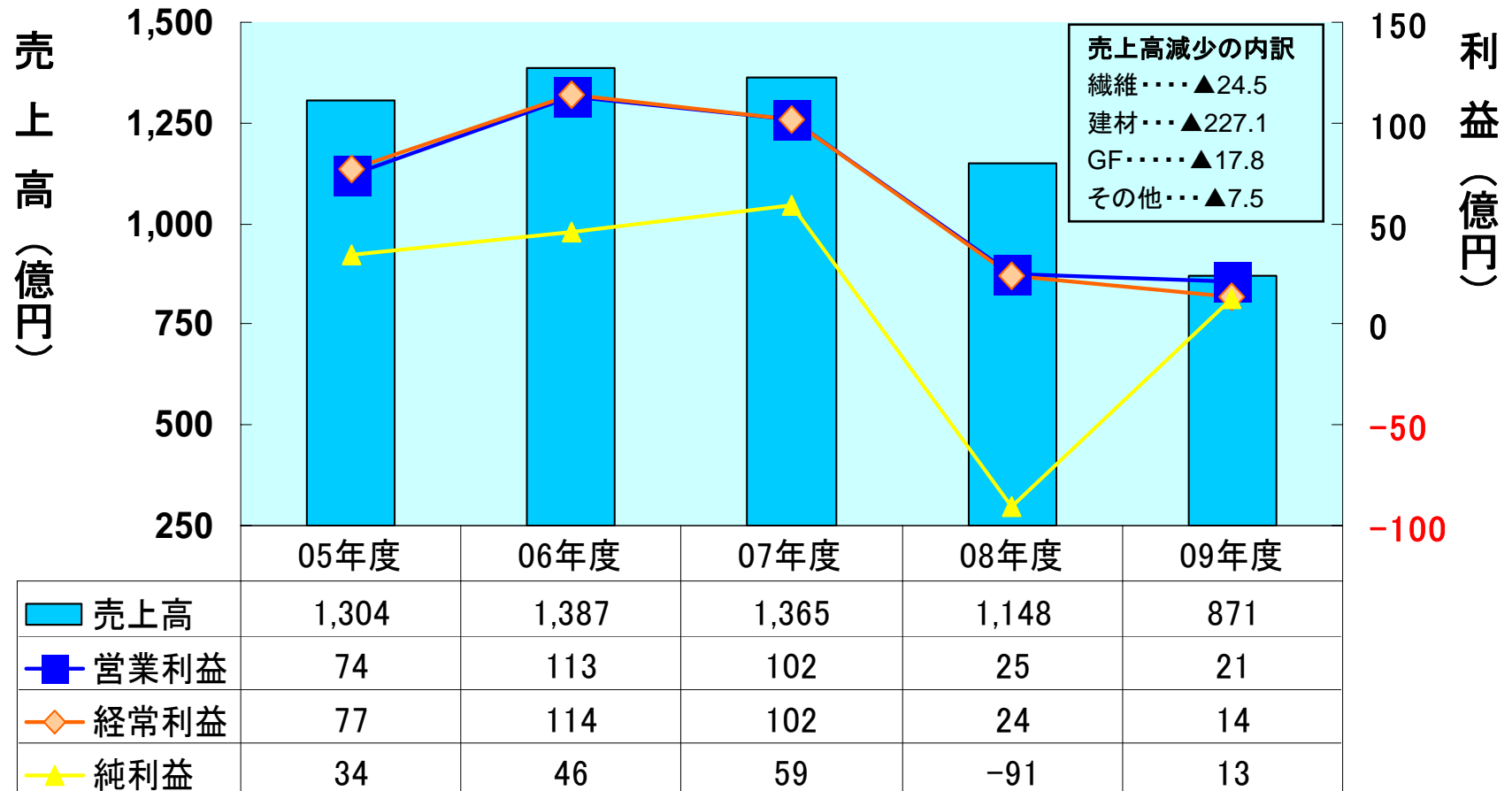
# I . 2009年度決算の概要

# 1. 業績概要

(億円)

	08年度	09年度	増減	増減率 (%)
売上高	1,148	871	▲ 277	▲ 24.1
営業利益	25	21	▲ 4	▲ 15.4
営業利益率 (%)	2.2	2.5	0.3	—
経常利益	24	14	▲ 10	▲ 41.7
当期純利益	▲ 91	13	104	—

## 2. 売上高・営業利益・経常利益・純利益の推移





Relay<sup>101</sup>

### 3. 財務及びキャッシュフロー

(億円)

	08年度	09年度	増減
総資産	1,474	1,290	▲ 184
純資産	564	545	▲ 19
自己資本比率(%)	37.2	41.2	4.0
1株当たり純資産(円. 銭)	256.58	266.32	9.74

	08年度	09年度	増減
営業キャッシュフロー	19	9	▲ 10
投資キャッシュフロー	▲ 93	▲ 21	72
フリーキャッシュフロー	▲ 74	▲ 11	63
財務キャッシュフロー	82	▲ 52	▲ 134
現金及び現金同等物期末残高	192	129	▲ 63

## 4-1. セグメント別業績

(億円)

	売上高				営業利益			
	08年度	09年度	増減	増減率 (%)	08年度	09年度	増減	増減率 (%)
繊維	99.1	74.6	▲ 24.5	▲ 24.8	3.8	3.4	▲ 0.4	▲ 8.8
建材	463.2	236.1	▲ 227.1	▲ 49.0	▲ 3.8	3.1	6.9	—
G/F	450.6	432.8	▲ 17.8	▲ 4.0	17.1	8.8	▲ 8.3	▲ 48.6
その他	135.2	127.7	▲ 7.5	▲ 5.5	16.0	20.6	4.6	28.5
消去	—	—	—	—	▲ 7.5	▲ 14.3	▲ 6.8	—
計	1,148.1	871.1	▲ 277.0	▲ 24.1	25.6	21.7	▲ 3.9	▲ 15.4

## 4-2. セグメント別業績(四半期別推移)

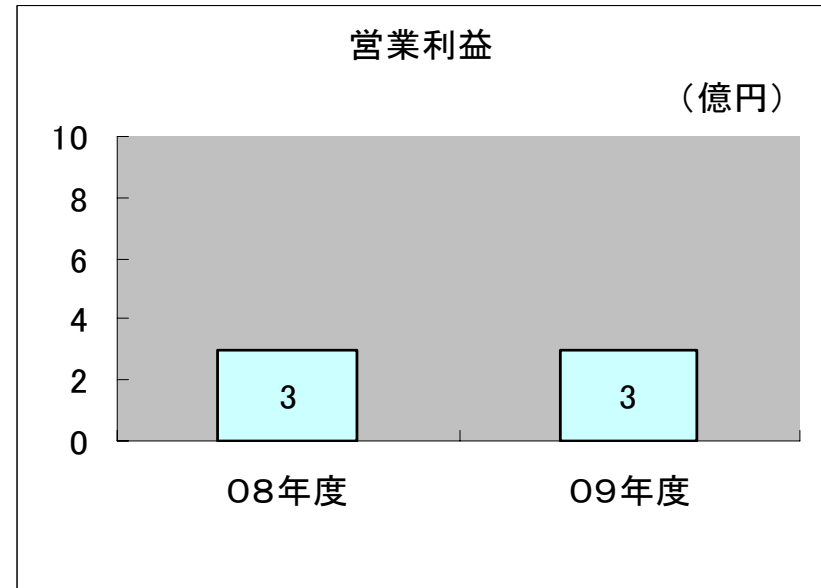
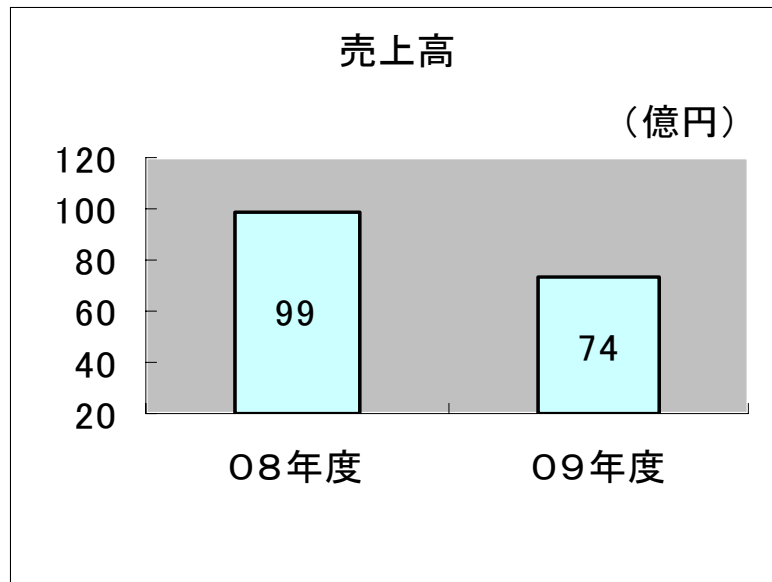
(億円)

セグメント		08年度				09年度			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
繊維	売上高	27.0	25.4	26.8	19.9	17.5	18.7	19.5	18.9
	営業利益	1.6	1.4	1.1	▲0.3	0.2	0.9	1.5	0.8
建材	売上高	109.4	121.7	123.4	108.7	69.2	79.1	38.9	48.9
	営業利益	▲2.4	▲0.8	0.9	▲1.5	▲3.5	0.9	1.0	4.7
G/F	売上高	131.2	134.4	109.1	75.9	89.8	108.9	112.3	121.8
	営業利益	10.7	12.0	3.7	▲9.3	▲7.7	▲2.2	5.0	13.7
その他	売上高	36.7	37.4	31.4	29.7	37.0	32.4	30.3	28.0
	営業利益	5.6	4.6	3.0	2.8	5.2	5.3	5.7	4.4
消去	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲1.8	▲1.9	▲2.4	▲1.4	▲2.3	▲2.9	▲4.0	▲5.1
計	売上高	304.4	318.7	290.8	234.2	213.5	239.1	200.9	217.6
	営業利益	13.7	15.4	6.1	▲9.6	▲8.2	2.2	9.1	18.6



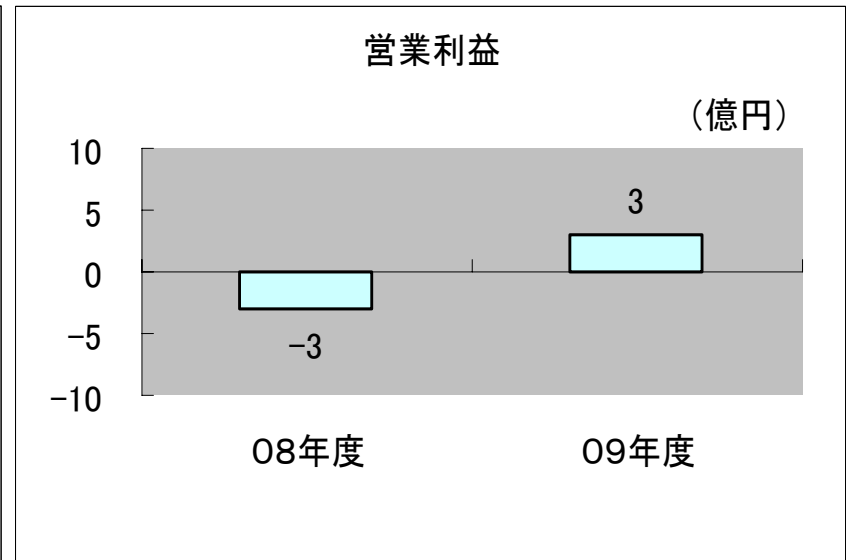
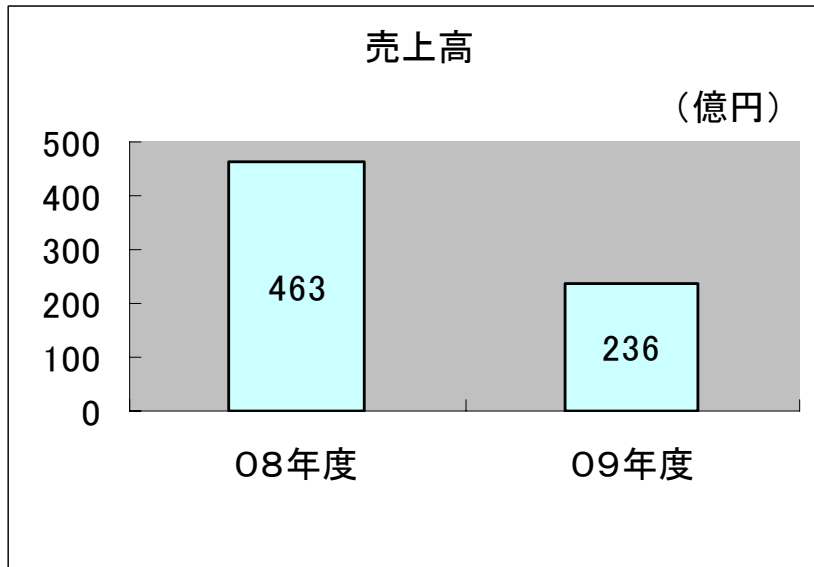
## (1) 繊維事業

- **ストレッチ素材** アパレル業界低迷の影響を受けるなか、高付加価値商品の開発や徹底したコストダウンを図る。
- **接着芯地** 衣料品消費の低迷や低価格志向の加速するなか、顧客との関係強化や販路開拓を実施。



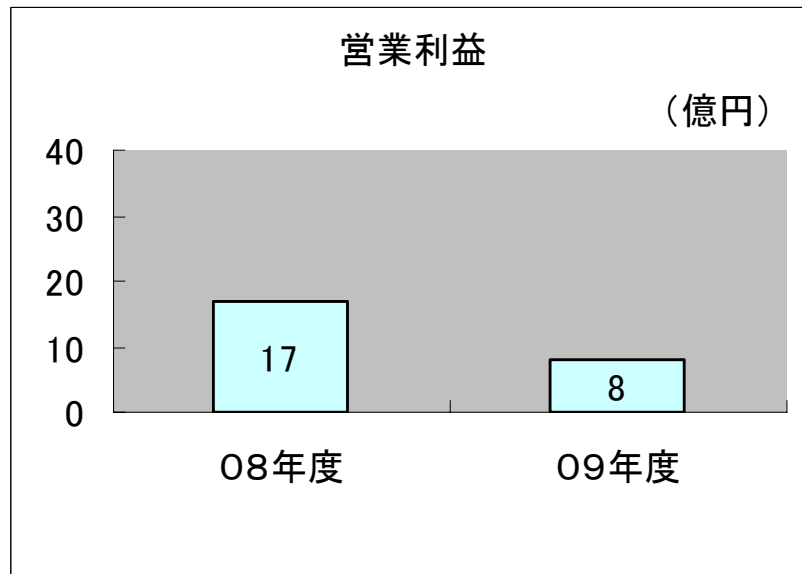
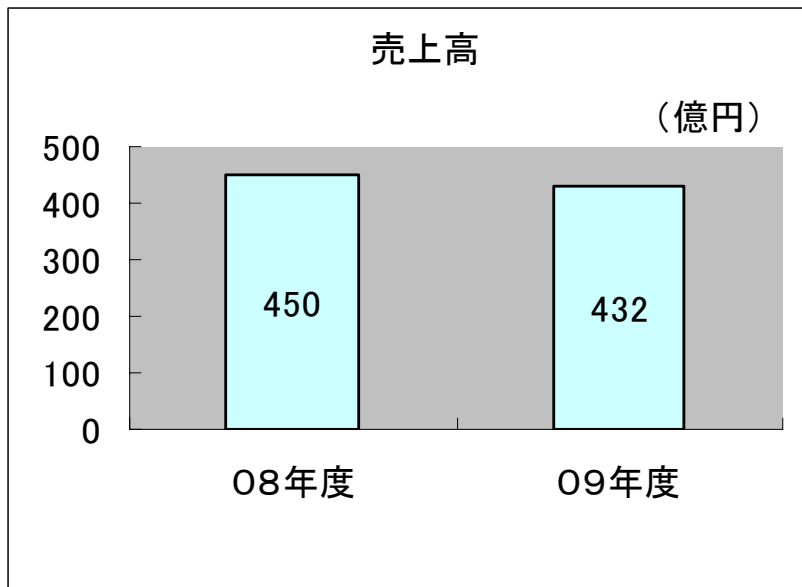
## (2) 建材事業

- 断熱材(グラスウール) 住宅着工戸数が低調に推移するなか、新規顧客の開拓や新商品の上市により売上高確保に努める。
- エンジニアリング・工事 既存顧客の深掘りなどを行ったが、工事物件減少の影響を受ける。
- グリーンビジネス グロダン社ロックウール培地の販売開始や植物工場の建設などを進める。



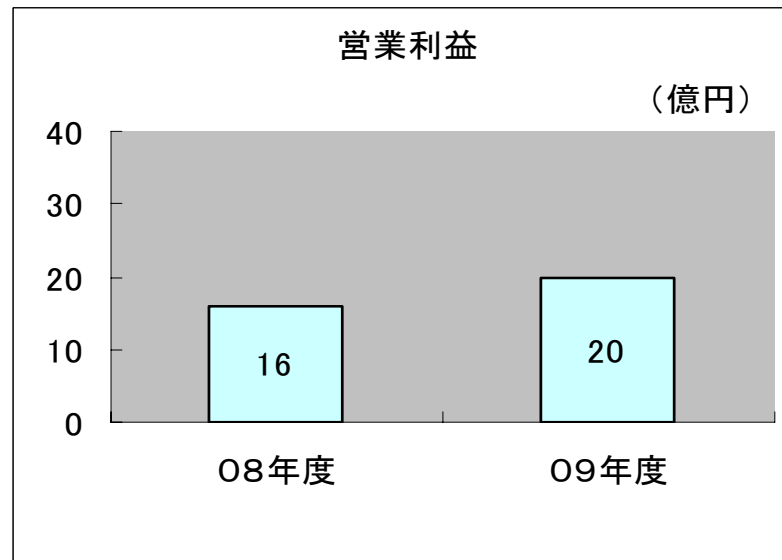
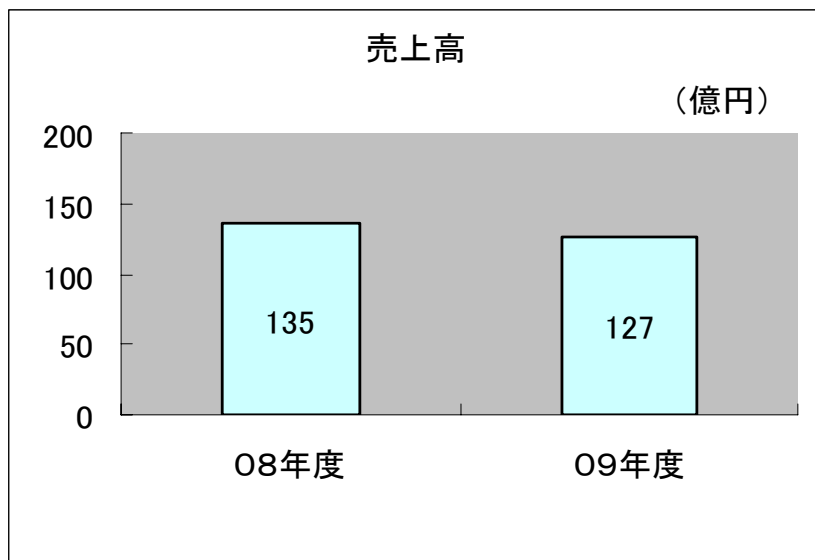
### (3) グラスファイバー事業

- 電子材料用途      前半は在庫調整により厳しい状況で推移したものの後半から輸出向けを中心に回復に向かう。
- 強化プラスチック用途      住宅設備機器関連は厳しい状況が続くなか、電気・電子分野などで高機能商品の拡販を図る。
- 産業資材用途      建築・土木分野は低調であったが、新商品・新用途の展開や海外物件の獲得などに努める。



## (4) その他の事業

- **メディカル事業**      試薬使用量の微量化が進むなか、国内・海外の子会社を再編し、診断市場の深掘りや新市場の開拓を実施。
- **飲料事業**            新商品の開発や新規顧客の開拓、品質管理体制の一層の強化などを実施。
- **スペシャリティケミカル事業**      機能商品の上市と高付加価値商品販売の拡充を推進。



## Ⅱ. 2010年度業績予想と今後の取組み



## 1. 2010年度業績予想

為替: 90円/US\$

原油価格(ドバイ): \$80/バレル (億円)

	08年度	09年度	10年度 予想	対前年 増減率 (%)
売上高	1,148	871	855	▲1.8
営業利益	25	21	52	139.9
営業利益率(%)	2.2	2.5	6.1	—
経常利益	24	14	43	202.2
当期純利益	▲ 91	13	27	100.4



## 2. 事業部門別動向と今後の取組み

### 【全体】

世界経済の構造的変化のなか、予断を許さない状況が予想されるが、中期経営計画を着実に実行することにより、更なる事業基盤の強化と企業価値の向上を目指す。

※ 当社は、事業部門別の業績見込み数値は開示しておりません。

### 【事業部門別】※本年4月より建材事業部門を環境事業部門へ、育成事業部門を医薬・飲料事業部門へ改編いたしました。

繊維事業	消費低迷や低価格志向の加速などにより引き続き厳しい状況であるが、原糸・衣料の人財・技術などを一体化し総合繊維メーカーを目指すとともに、新規分野への参入により高付加価値化と顧客への訴求力向上を図る。
グラスファイバー事業	電子材料・自動車分野を中心に回復基調の継続が見込まれるなか、未来創造型の新商品開発・市場創出を図るとともに、環境変化に対する弾力性の高い事業基盤を構築する。
環境事業	住宅着工戸数の低迷などにより厳しい状況が継続するが、グリーンビジネスの着実な展開、断熱材(グラスウール)、エンジニアリング・工事、スペシャリティケミカルス各分野の事業基盤強化を図り、省エネ、省資源、生活環境改善、食の安全(農業)の可能性を追求する。
医薬・飲料事業	新規分野開拓による高付加価値化を推進し安定的収益の確保、増大を図る。

## 本資料の取り扱いに対する注意事項

本資料に記載されている予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。